

## シルバーアドバイザーによる

### “ S A 伝 承 ま つ り ”

#### ～ 子どもたちに伝えること～

9月3日に府立老人総合センターで高齢者保健福祉月間の行事の一環として、大阪府主催によるイベント[シルバーアドバイザーによる“SA伝承まつり”]が開催されました。

イベントの運営主体には大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が当たり、多数の本部スタッフのほかに、府下の大阪、吹田、とよなか、茨木、高槻、北河内、堺の「地区 SA」から総勢70名を超える会員がスタッフとして参加し、「おもちゃづくりコーナー」では20種類を越えるアイテムが展開されました。

会場では「伝承あそび」も行われ、また「伝承食(餅つき・月見だんご作り)」はSA15期世代間交流コースのメンバーにより実施されました。高校生によるインスタントシニア体験とか大学生による世代間交流実習も実施され、大変有意義なイベントになったと感じました。

今回の主な目的は、府下の各地に展開している「地区 SA」がそれぞれの地区で学校、幼稚園、子供会、自治会等で、平素実施している活動状況の一部をより多くの人に知って頂くことでした。

9月は大阪府が実施している「高齢者保健福祉月間」であり、太田知事が各地の高齢者を訪ね、活動を励ますと共に交流を深めておられ、その一環としてこのイベント会場へも来場されました。

会場では激励のお言葉を戴き、シルバーアドバイザーからは、手づくり玩具を差し上げました。

子供達に「おばちゃん」と呼ばれなら一緒に玩具づくりを楽しめました。

知事がシルバーアドバイザーの活動をご覧になったのは多分初めてのことであり、私達の活動に一層理解を深めて戴けたものと考えます。

当日は約250名の方が来場され、一日中大変賑わいました。

(注)このイベントには西山田保育園、あやめ保育園、北山田小学校、吹田市立学童保育、府立山田高校、梅花女子大学の皆さまにご協力頂きました。



#### 『SA 伝承まつり』を終えて

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 会長 久保昌之

この9月は「高齢者保健福祉月間」であり、大阪府は多彩な月間行事を計画されています。

その幕開けとしてさる9月3日、府立老人総合センターにて大阪府主催で、私達大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が行事運営主催者となり【シルバーアドバイザーによる“SA伝承まつり”～子どもたちに伝えること～】をテーマに開催されました。

このイベントの趣旨は伝承あそびや玩具づくり、伝承食づくり(餅つき)を通じ子ども達と感動を共有し、世代間のコミュニケーションを図るSAの皆さんの日常活動を紹介し、理解と認識を深めて頂く事です。この日は、はからずも太田大阪府知事が「高齢者保健福祉月間」の活動として各地の高齢者の活動を激励のため訪問しておられ、その一環としてこのイベントにも来てくださり、おもちゃ作りなどと共に、幼児との伝承遊びによる子育て支援活動、高校生、女子大学生の参加による交流実習活動等も観ていただき、また一部体験もして頂きました。

初めて大阪府知事にシルバーアドバイザーの活動をご覧戴く機会を得ましたことに大変な感動と光栄を覚えますと共に、わたしたちの活動に深いご理解を頂けたものと確信しております。

社会活動の原点は「協働、協調」とされています。

大阪府健康福祉部、大阪府地域福祉推進財団、これらの関係諸団体から多くのご助言ご指導を得、且つ子供たち、高校生、大学生の動員と大変なご支援を頂き、同時にSA連協を強力に後押しして頂きました。それに行事運営に当る「SA連協」と「地区SA」のかつてない関係の基に実施された今大会は、結果として、去る2月の中之島公会堂における“ファインエイジフォーラム”を上回る大盛会となり、当SAが表舞台に押し出される格好となりました。

これは偏に参加各地区SA及び会員の方々の真摯な日常活動の積み重ねが大きく評価された結果ではないでしょうか。ここに改めて関係各団体に厚く感謝申し上げ、併せて参加SAの役員、会員の皆様のご苦労に対

しお礼申し上げます。

シルバーアドバイザーの活動が評価されればその期待も大きくなります。今、関係機関で、シルバーアドバイザー養成講座の拡大拡充が審議されているやに漏れ聞いております。私達はその時に備え組織の点検整備を急がねばなりません。即ち組織横断的なネットワークの構築です。いまこそ会員が互いの「共感という連結器」を大切に、更に地域福祉発展のためにボランティアな日常を送ることが望まれます。

付記、「シルバーアドバイザー」認定式も高齢者保健福祉月間行事の一環として、大阪府主催で行われている。